

sangetsu

株式会社サンゲツ

2021 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会

2020 年 11 月 19 日

イベント概要

[企業名]	株式会社サンゲツ		
[企業 ID]	8130		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2020 年度 第 2 四半期		
[日程]	2020 年 11 月 19 日		
[ページ数]	33		
[時間]	10:00 – 10:53 (合計：53 分、登壇：41 分、質疑応答：12 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役 社長執行役員	安田 正介（以下、安田）	
	財務経理部長	助川 達夫（以下、助川）	

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



登壇

安田：安田でございます。本日はよろしくお願いいたします。

今年度上期の決算の状況を詳しくご説明する前に、この上期を振り返ってみてどのように私自身で考えているか、捉えているかについて述べさせていただきます。業績としては、期初に発表しました、期予想よりも、若干良い形で上期は着地ができました。しかしながら、私としてはこれを必ずしも前向きには捉えておりません。私は社長に就任してからの6年半の間、サンゲツグループの事業の強化策というものをさまざまに打ってきたつもりであります。しかしながらそれにも関わらず、新型コロナウイルス感染症の多大な影響を受けたこと。わが社の連結決算、それぞれのセグメントの決算としても、絶対値として、もっとより良い結果が残せなかったのかと。また、同業他社との比較においても、決してより良い決算となったとは考えておりません。

事業の強化策が、なかなか十分に行き届いていないということを、つくづくと認識をしており、今後さらに中期経営計画で発表しております事業の強化策を確実に、かつ早急に実行していく必要があると認識をしております。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



決算のPOINT

1 売上高 695.4億円：前期比▲105.2億円(▲13.1%)

- ・ インテリアセグメント：前期比▲75.2億円 (▲12.5%)
- ・ 海外セグメント：前期比▲22.3億円 (▲22.3%)
- ・ エクステリアセグメント：前期比▲10.7億円 (▲12.9%)
- ・ スペースクリエーションセグメント：前期比+5.4億円 (+33.0%)

2 売上総利益 227.0億円：前期比▲36.9億円(▲14.0%)

- ・ インテリアセグメント：前期比▲27.8億円 (▲13.3%)
- ・ 海外セグメント：前期比▲9.8億円 (▲24.4%)

3 販売費及び一般管理費 201.6億円：前期比▲16.9億円(▲7.8%)

- ・ インテリアセグメント：前期比▲10.1億円 (▲6.2%)
- ・ 海外セグメント：前期比▲8.7億円 (▲19.8%)

4 営業利益 25.4億円：前期比▲20.0億円 (▲44.1%)

- ・ インテリアセグメント：前期比▲17.6億円 (▲39.2%)
- ・ 海外セグメント：前期比▲1.0億円 (-)

5 当期純利益 19.7億円：前期比▲16.6億円(▲45.7%)

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

4

それでは、具体的な決算の状況についてご説明を申し上げます。

売上高は 695 億 4,000 万円ということで、前期比 13.1%減ということになりました。最も大きく減少しておりますのは海外セグメントの 22.3%減であります。

売上総利益は 227 億円ということで 14.0%の減少。海外セグメントが 24.4%ということで、ここにおいても海外セグメントが一番、大きな減少幅を見せております。

販管費は 16 億 9,000 万円減、201 億 6,000 万円、7.8%の減となりました。海外セグメントに関しては、19.8%減、総利益の 9.8 億円の減に対して 8.7 億円の減ということで、総利益の減少等に近い形で販管費、減少しております。これは後ほどご説明申し上げますが、海外の米北 Koroseal 社等の償却が大幅に減額になったことが影響しております。

営業利益は 20 億円減。44%減の 25 億 4,000 万円。

当期純利益は 45.7%減の 19 億 7,000 万円となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



第2四半期決算 連結売上高・総利益の推移



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

5

これをより長期で見えていただきますと、2009年9月期以来、ずっとこの売上高は増収を継続しておりましたけれども、この上期において2009年9月期以来の売上高減収となりました。

また、総利益に関しましても2007年9月期以来、総利益は増益を達成していましたが、今期大幅な総利益の減少という結果となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



決算のPOINT

インテリアセグメント

4-6月期には、新型コロナウイルス感染症の影響は着工と内装の時間差により新築住宅では限定的であったが、昨年7月以降の新設住宅着工戸数の減少に加え、リフォーム工事の忌避により売上減。7-9月期には、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大した。

これにより、前年同期比営業利益は大幅減も、近年の壁紙を中心とする総利益改善ならびに販管費の抑制努力により、2017年度・2018年度上期を上回る営業利益を確保。

エクステリアセグメント

前年度上期には消費税増税前の仮需・自然災害による復旧需要があったが、これが剥落、さらに新型コロナウイルス感染症の影響が7月以降本格化。

売上高は前年同期比12.9%減の72.3億円となったが、2016年度上期（72.5億円）・2017年度上期（74.5億円）とほぼ同等の結果となった。

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

6

各セグメントに関して細かくご説明をしてみたいと思います。

サンゲツ単体が主要な事業であるインテリアセグメントに関しましては、新型コロナウイルスの影響は、4～6月期においては着工と内装の時間差により限定的でありました。しかし、昨年7月以降は、新設住宅着戸数の減少とリフォーム工事がコロナウイルス感染の恐れから忌避されたために、売上は減少いたしました。さらに7月に入ってから、新型コロナウイルス感染症の影響も拡大しております。

これによりまして、インテリアセグメント、営業利益が大幅に減少いたしました。しかし、近年進めていた壁紙を中心として総利益率の改善や、販管費の抑制努力により、前期比大幅減ではありますが、2017年度・2018年度上期を上回る営業利益は確保しております。

エクステリアセグメントにおきましては、昨年度上期に消費税増税前の仮需があり、また自然災害による復旧需要等があったこと、これに加え新型コロナウイルス感染症の影響が7月以降本格化したことで、売上高は12.9%減、72億3,000万円となりました。ただしこれも、2016年度上期の72億5,000万円、2017年度上期の74億5,000万円とほぼ同等の結果となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

決算のPOINT

海外セグメント

(連結累計期間は2020年1月～2020年6月)

北米/Koroseal

新型コロナウイルスの影響は3月下旬より深刻化。厳しい状況となる中、前年度ののれん・無形資産の減損によるのれん償却の解消に加え、新設備・工場統合による生産コストの減、人員削減により赤字拡大回避。

中国/山月堂（上海）、Goodrich中国

1-3月は旧正月と新型コロナウイルスの影響で大幅な落ち込みとなったが、4月以降回復途上にある。

東南アジア/Goodrich

新型コロナウイルスの影響はタイやベトナムにおいては4月より緩和。
マレーシアでは感染症拡大が止まらず、シンガポールでは施工人員の不足により売上低迷

スペースクリエーションセグメント

非住宅新築の内装工事業は予定通り進捗、リニューアル工事は5月以降に新型コロナウイルスの影響顕在化。一方、非住宅リニューアルの元請事業に関しては、規模拡大に向けた取り組み強化。

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

7

海外でありますけれども、北米の Koroseal 社では、1 月、2 月、3 月までは順調にまいりましたけれども、3 月下旬より、コロナウイルスの影響が深刻化いたしました。

こうした中、前年度に Koroseal ののれん及び無形資産の大幅な減損を行ったことにより、のれん等の償却が少額になったということ。そして、また昨年度来スタートいたしました新設備による生産コストの減少。また、2 工場あったものを 1 工場に統合したことによる生産コストの減少。そして、コロナウイルスの影響に対して人員削減を行ったことによって、大幅な赤字拡大は回避をしております。

山月堂社上海と Goodrich 中国の 2 社が担う中国における事業は、1 月から 3 月は旧正月と新型コロナウイルスの影響で大幅な落ち込みとなりましたけれども、4 月以降は回復途上にあります。

東南アジアにおける Goodrich 社は、4 月以降、タイ・ベトナムの状況は改善しております。しかし、マレーシアでは感染症の拡大が止まらず、またシンガポールではマレーシア等からの海外の労働者が施工を行っておりますが、この施工人員の不足により売上は低迷を続けております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

今年度より設けましたスペースクリエーションセグメントは、内装工事を主に行っておりますフェアートン社と、非住宅リニューアルの元請事業を行うサンゲツ単体内のスペースクリエーション事業部の二つが担っております。

フェアートン社が行っている非住宅新築の内装工事業は順調に推移いたしましたが、リニューアル工事は5月以降に減少しました。しかしながら、スペースクリエーションセグメントに関しては、売上高は増加しております。

連結売上高・営業利益・当期純利益推移



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

9

連結ベースの売上高、及び当期純利益、営業利益です。

先ほど申し上げましたとおり、単体の営業利益は2017、2018年度よりも上回っていると申し上げましたが、連結におきましても単体の健闘によって今上期の営業利益25億4,000万円は、2017年度上期、2018年度上期に比して上回っております。同様の結果が連結純利益にも表れております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

セグメント別売上高と営業利益

(億円、%)

事業セグメント	2020年3月期			2021年3月期		
	第2四半期 実績	第2四半期 期初計画	第2四半期 実績	構成比	前期比(%)	計画比(%)
インテリアセグメント 売上高	604.0	500.0	528.7	76.0%	▲75.2(▲12.5%)	28.7(+5.7%)
壁 装 材	298.8	—	267.5	50.6%	▲31.2(▲10.5%)	—
床 材	219.0	—	192.5	36.4%	▲26.5(▲12.1%)	—
ファブリック	41.2	—	36.0	6.8%	▲5.1(▲12.6%)	—
その他	44.8	—	32.5	6.2%	▲12.3(▲27.5%)	—
営業利益	45.1	—	27.4	107.8%	▲17.6(▲39.2%)	—
エクステリアセグメント 売上高	83.0	70.0	72.3	10.4%	▲10.7(▲12.9%)	2.3(+3.4%)
営業利益	3.8	—	2.3	9.3%	▲1.4(▲38.3%)	—
海外セグメント 売上高	100.3	75.0	77.9	11.2%	▲22.3(▲22.3%)	2.9(+4.0%)
営業利益	▲4.0	—	▲5.0	▲20.1%	▲1.0(—)	—
スペースクリエーションセグメント 売上高	16.6	15.0	22.0	3.2%	5.4(+33.0%)	7.0(+47.3%)
営業利益	0.5	—	0.8	3.3%	0.2(+49.6%)	—
セグメント間取引調整(売上高)	▲3.4	▲5.0	▲5.7	▲0.8%	▲2.3(—)	▲0.7(—)
セグメント間取引調整(営業利益)	0.0	—	▲0.0	▲0.3%	▲0.0(—)	—
連結売上高	800.6	655.0	695.4	100%	▲105.2(▲13.1%)	40.4(+6.2%)
連結営業利益	45.4	—	25.4	100%	▲20.0(▲44.1%)	—

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

10

次に、セグメントのより詳しい結果をご説明申し上げます。

インテリアセグメントの中には壁装材、床材、ファブリックがございますけれども、壁装材では、売上高が267億5,000万円。前期比10.5%減となりました。床材の方がより大きな減少となっておりまして、12.1%減の192億5,000万円。ファブリックは12.6%減の36億円となっております。これにより、インテリアセグメントとして営業利益39.2%減、27億4,000万円となりました。

エクステリアセグメントは売上高12.9%減少、また営業利益も38.3%の減少となっております。

海外セグメントは先ほど申し上げたとおりでありますけれども、前年度、のれん等の償却後、営業利益はマイナス4億円の赤字であったものが、今期は1億円増えて、5億円の赤字となっております。

スペースクリエーションセグメントに関しましては売上高33%増の22億円。営業利益も49.6%増の8,000万円となっております。

サポート

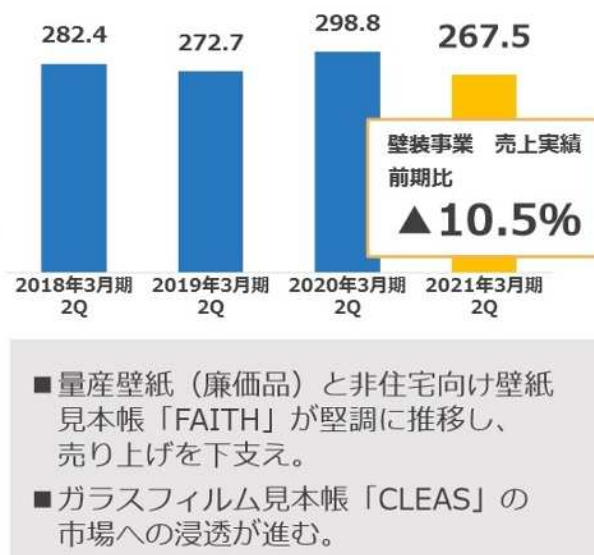
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

インテリアセグメント 壁装材の状況

壁装材 関連市場の状況 (カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

(億円)



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

11

インテリアセグメントについて、これをより詳しく、エレメントごとにご説明したいと思います。

壁装材が最も使用される住宅市場であります。以前よりご説明している通り、新築住宅市場においては、着工から内装工事が行われるまでの時間差により、今年の1月～6月の着工状況が4月～9月の業績に影響していると考えております。そして、この1月～6月の住宅着工床面積はマイナス12.2%という結果となっております。一方、住宅のリフォーム市場でありますけれども、一部の機関からは4月～6月のリフォーム市場は前期比マイナス7.5%という数字が発表されておりますが、当社のリフォーム関連商材の売上はこれよりも大きく減少しており、当社としては、より大きな住宅リフォーム市場の縮小があったと捉えております。

壁装材全体の出荷数量でありますけれども、業界団体の発表数字では上期、数量ベースで12.3%の減少という結果であります。これに対し、当社の壁装事業の売上実績は前期比10.5%減となっております。若干、単価の下落があったことを踏まえると、10.5%減は数量ベースでは10%を切る数量の減少と考えられ、シェアは確実に上昇したと見ております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

インテリアセグメント 床材の状況

床材 関連市場の状況

民間非居住建築物着工床面積 前期比 (使途別,倉庫・工場を除く)		
2018年度		2019年度
▲0.7 %		▲3.3 %
民間非居住建築物着工床面積(用途別) 前期比		
	2019年度	2020年4~9月
卸売業、 小売業用	▲19.7%	▲21.1%
宿泊業、飲食・ サービス業用	▲9.7%	▲33.7%
医療・福祉用	+5.6%	▲16.7%
その他の サービス業用	▲5.7%	+6.8%

業界全体の商材別出荷数量 前期比	
タフテッドカーペット	▲24.0 % (4-8月)
カーペットタイル	▲17.4 % (4-8月)
長尺シート	▲18.1% (4-9月)
フロアタイル	▲9.0 % (4-9月)



- 通期では10期連続増収であった床材も、今期は厳しい状況
- 宿泊やオフィスなどを中心とした非住宅市場の縮小や工事の中止・延期の影響に加え、大型プロジェクト案件の獲得不足も影響し、カーペットタイルは不調。また、非住宅向け長尺シート床材は新見本帳発刊前の落ち込みにより低迷。

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

12

次に、床材の状況です。床材に最も影響を与える非住宅の建築物の工事状況は、従来からご説明申し上げますとおり、2018年度以来、非居住の倉庫・工場を除く建築物の着工床面積は減少傾向に入っており、本年4~9月においてもその傾向はより強まっているという状況にあります。

一方、業界団体が発表しております床材の出荷数量の前期比、一部は4~8月までしか発表されておられませんけれども、この数字を見ますと大幅な落ち込みとなっております。これに対し、当社の床材事業の売上実績は前期比12.1%という結果であります。若干単価も下落しているということを含め、当社としては床材の数量面に関しては、業界全体の下落とほぼ同様の下落となったと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

インテリアセグメント ファブリックの状況

(億円)



カーテン見本帳「コントラクトカーテン」PK9003



- カーテン見本帳「AC」が前年度に引き続き売り上げを牽引。
また、9月に医療福祉施設に最適な抗ウイルス商品等を収録した見本帳「コントラクトカーテン」を発刊。
- 椅子生地見本帳「UP」の市場浸透。機能性の高いビニルレザーが好評。
- EC事業「WARDROBE sangetsu」が伸長。

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

13

カーテン等に使われるファブリックの実績は、12.6%減となりました。一部、ネット等でのカーテンの販売、販売量販店での既製カーテンが巣ごもりなし、在宅勤務ということで拡大をしているという報道がされておりますが、当社も昨年来始めました、Eコマースのカーテン事業に関しては、この売上は伸長しました。しかしながら、それ以外の通常チャンネルでのカーテンの売上が大幅に減少しています。

一方、カーテン以外の椅子生地に関しては売上は拡大をしております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

海外セグメント Koroseal社の状況 (ターンアラウンドプラン進捗状況)

昨年度実行した新鋭設備の稼働が安定し、生産コストが改善。
また、新型コロナウイルスに伴うレイオフ等コストダウンに努める。

1. コスト削減

- ・昨年度導入した新鋭設備の稼働安定化、工場統廃合による生産コスト低減
- ・スクラップレートの改善
2019年→2020年で5.6%の改善



2. 新設備によるデザイン性の向上

- ・新設備による正確かつ微細なデザインの新商品を2021年初めより発売開始

3. ホスピタリティーマーケット集中からの転換

- ・Healthcare市場および教育市場に対する営業強化

4. サンゲツ・Koroseal間の商品連携の強化

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

14

次に、海外事業についてご説明します。米国の Koroseal 社に関しましては、昨年稼働を開始した新鋭設備の稼働が安定化し、これに伴って生産コストが改善をしております。また2つの工場を1つに統合したことによる、さまざまなコストの改善・低減効果も表れてきています。また、大きな問題であるスクラップレートに関しまして、従来18%超であったものが13%程度に改善をしております。依然として不十分な数字でありますけれども、さらにスクラップレートの改善を続けていく必要があると考えております。

また、新鋭設備により、正確かつ微細なデザインや多色刷りが可能となってきています。これを活用した新しいデザインの新商品を、来年、はじめより発売開始する予定としています。一方、従来 Koroseal 社が得意分野としていた、ホスピタリティーマーケット、ホテル宿泊マーケットに関しては、最も新型コロナウイルスの影響を受けている市場であり、これに対して Healthcare 市場及び教育事業に対しての営業強化を実行しています。

これに加えて、サンゲツ商材の米国での販売拡大にも努めています。例えば「リアテック」、これは木目等の意匠をプリントした塩ビのフィルムですが、これを貼ると、実際の木のように見え

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



る商品です。米国において、ドアのリニューアル需要が高まっているということで、自然の材木を使わず、低価格でリニューアルできるリアテックの販売は拡大しつつあります。

また、日本製の素材系の壁紙の販売についても、これを拡大するべく準備を整え、来年の初めより発売開始の予定としております。

海外セグメント Koroseal社の状況

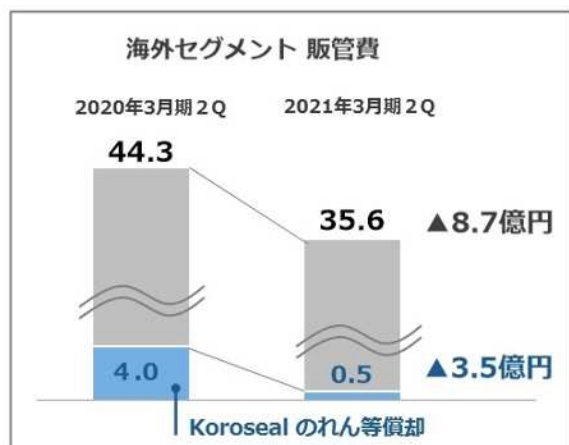
販管費削減

・減損影響

▲3.5億円は、昨年度末に実施したのれんおよび無形資産の減損による改善

・人員削減

2019年12月末 **556名** ➡ 2020年9月末 **471名**
工場人員57名減、営業人員微減 計85名削減



人員数推移	2019/12末	2020/3末	2020/6末	2020/9末
Koroseal	495	434	409	420
工場	244	191	173	187
営業	97	96	96	92
その他	154	147	140	141
Metro	61	55	50	51
合計	556	489	459	471

sangetsu

のれん等償却 = 子会社取得に伴うのれん・無形資産・有形固定資産償却費

©Copyright Sangetsu Corporation

15

また、コストの改善でありますけども、先ほど若干ご説明申し上げましたとおり、海外セグメント全体としては、販管費が8億7,000万円の減少となりました。

そのうち、Koroseal ののれん等の償却の減少が3億5,000万円ということで、大きな割合を占めております。残り、5億2,000万円が通常の販管費の削減です。これに対しましては、Koroseal 社の人員削減やボーナスの削減といったような施策が大きく寄与しております。2019 年末の時点の社員数は、子会社の Metro と合わせて 556 名でした。これを 9 月末で 471 名と、85 名削減をしております。このうち大きく減ったのは工場人員、またカスタマーサービス等の人員となっております。営業人員に関しましては、やはり営業活動が Koroseal 社、Metro 社の主力機能であるということから、これに関しては微減に留めております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

海外セグメント Goodrich社の状況

Goodrichシンガポール

【人員削減計画】

2020期初 116名 ➡ 2021期初 108名 ➡ 2022期初 96名

Goodrichマレーシア

【人員削減計画】

2020期初 68名 ➡ 2021期初 53名

【拠点再編】

4拠点 ➡ 2拠点へ コタキナバル、ジョホールバル拠点閉鎖

戦略市場への注力

- ・ **Goodrich中国**：山月堂（上海）との統合・人員削減
- ・ **Sangetsu Goodrich ベトナム**：サンゲツとGoodrichの共同出資で4月1日営業開始
- ・ **Sangetsu Goodrichタイランド**：100%出資会社として11月2日営業開始

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

16

一方、東南アジア事業、中国事業でありますけれども、東南アジア・中国においても新型コロナウイルスの影響を受け、よりリーンな経営体制にするべく、人員の削減を進めています。

米国のような形でのレイオフということはできませんので、時間がかかるという側面はありますが、シンガポールに関しましては、期初 116 名いた社員を現在 108 名へ減少し、さらに 1 年かけて 96 名に削減する予定としております。

マレーシアにおいては、コタキナバル、ジョホールバルに加えて、クアラルンプール、プーチンという 4 カ所に拠点がございましたが、このうちコタキナバル、ジョホールバルの 2 拠点を閉鎖し、人員削減をするということを進めております。

このような形で、米国におきましても、東南アジアにおきましても、損益分岐点を下げるということを実行しております。

一方、市場への強化ということも進めておりまして、中国市場を担う Goodrich 中国と山月堂（上海）の 2 社について来年 1～3 月での統合を目指しており、これに伴って人員削減を進めることとしています。一方でベトナムにおいては、Sangetsu Goodrich ベトナムを 4 月から営業開始しております。また、タイにおいても。従来 49%子会社で運営をしておりましたが、100%子会社の

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

Sangetsu Goodrich タイランドを設立し、11月より営業開始いたしました。従来の49%子会社は現地パートナーへ譲渡する予定としております。

連結キャッシュ・フロー計算書



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

18

連結キャッシュ・フローに関してご説明します。

期初においては、もしくは前年度期末においては、私どもが現金及び現金同等物として捉えているものが368億1,000万円ございました。NetCashは163億4,000万円でありましたが、この上期において営業活動によるキャッシュ・フローが、50億1,000万円。投資活動によって24億4,000万円の減少。一方、低利での借入が可能となったことから5月に70億円の借入を行いました。これによって財務活動によるキャッシュ・フローが47億円となっております。

この結果、9月末での現金同等物の期末残高は371億5,000万円、NetCashは189億7,000万円となっております。従来より、現金及び現金同等物の保有の目処は200～250億円、NetCashプラスということを申し上げてきておりますけれども、それに比べますと大幅な残高増となっておりますが、12月末に120億円弱の大口の返済が控えていること、及びその後の現金の必要性ということを考えますと、適正な範囲内にあると認識をしております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

連結Cash Conversion Cycle



※2017年9月末(期間2016年10月1日～2017年9月30日)は、Koroseal社のP/L連結前期間の数値を連結後期間(2017年1月1日～2017年6月30日)の業績と同額と見なして加算し、計算しています。

※2018年9月末(期間2017年10月1日～2018年9月30日)は、Goodrich社のP/L連結前期間の数値を連結後期間(2018年1月1日～2018年6月30日)の業績と同額と見なして加算し、計算しています。

※2017年9月末及び2018年9月末に係る各数値は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

19

最後に Cash Conversion Cycle であります。Cash Conversion Cycle は前年 9 月末に比して、3 日弱の増加となりました。これに大きく影響を及ぼしておりますのは、棚卸資産の回転期間。これが 6 日弱増えたことです。

棚卸資産に関しては、売上が急速に減少する中で在庫を減らすべく、仕入金額を減少させましたが、十分な棚卸資産の減少につながらず、若干の棚卸資産の増加となりました。これに対し、分母となる仕入総額が若干減ったものの大きくは減らなかったことから、6 日の増加という結果となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

新型コロナウイルス感染症への対応

【基本方針】

お客様・社員の安全を最優先とし、
“品切れなく受注”し、“全国に出荷する”体制を維持する。

【対策】

- ①IT環境整備によるテレワークの推進 最大時：7割
- ②ロジスティクス関連社員、商品開発担当者、ショールーム担当者を中心に出勤勤務継続
- ③社内分散勤務の実施
- ④WEB会議システムの活用
- ⑤直行直帰による営業活動
- ⑥ショールーム オンラインコンサルテーションの実施
- ⑦WEBセミナーの開催

(トレンドセミナー、新見本帳セミナー、抗ウイルス対策セミナー)



WEBセミナー（トレンドセミナー）



**直接面談が基本の内装業界において、感染拡大防止策を講じながら、
テレワークを活用しつつ、効率的で・効果的な営業活動を試行**

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

21

次に、新型コロナウイルス感染症による影響、上期における影響及び今後の見通しについて簡単にご説明をしたいと思います。

この上期における活動でありますけれども、内装材料というのは建築工事の全ての最終段階に使われます。従って、これがオンタイムに届かない場合には建物が完成しているのに住めない、もしくは活用できないことになるということです。日本の内装材料の壁紙・床材等含めて約5割のシェアをいただいております当社としては、この状況を防ぐために、新型コロナウイルスの影響を受けても受注をし、そして遅滞なく全国に出荷する体制を維持することを第一として進めてまいりました。

また、内装業界は直接面談が基本であります。直接面談がなかなか難しい中でオンライン・Webを使用することによって、営業活動等を従来以上に維持するということに努めてまいりました。最盛期には、在宅勤務・テレワークの人員の比率が7割になりました。しかしながら、やはり一部、営業活動に影響が出たということは否めないと考えております。

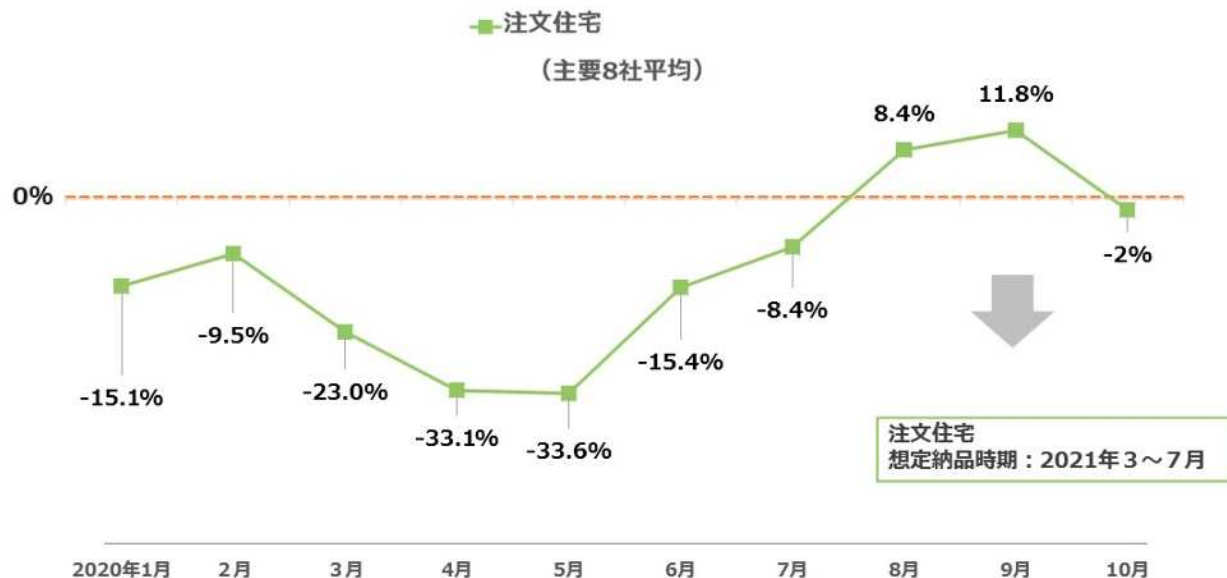
サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

(参考) 住宅市場／新築 注文住宅

注文住宅 ハウスメーカー受注速報値（前年同月比）



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

22

このような中、住宅関係における影響についてご説明します。最初に注文住宅の状況をご覧いただきたいと思いますが、主要ハウスメーカー8社から発表されております、注文住宅の受注速報値の8社の単純平均値であります。

ご覧いただきますとおり3月以降、3月、4月、5月と大幅な受注の落ち込みとなりましたけれども、6月以降に回復傾向を示しておりまして、8月からは前年比を超える受注となっております。10月、8～9月の好調を受けて、若干、下回っておりますけれども、8月以降、好調な結果となっております。しかしながら注文住宅の受注から内装工事に至るまでの時間差を考えると、8月以降の注文住宅の受注が、内装の納品に影響するのは来年の3月以降になると見ております。

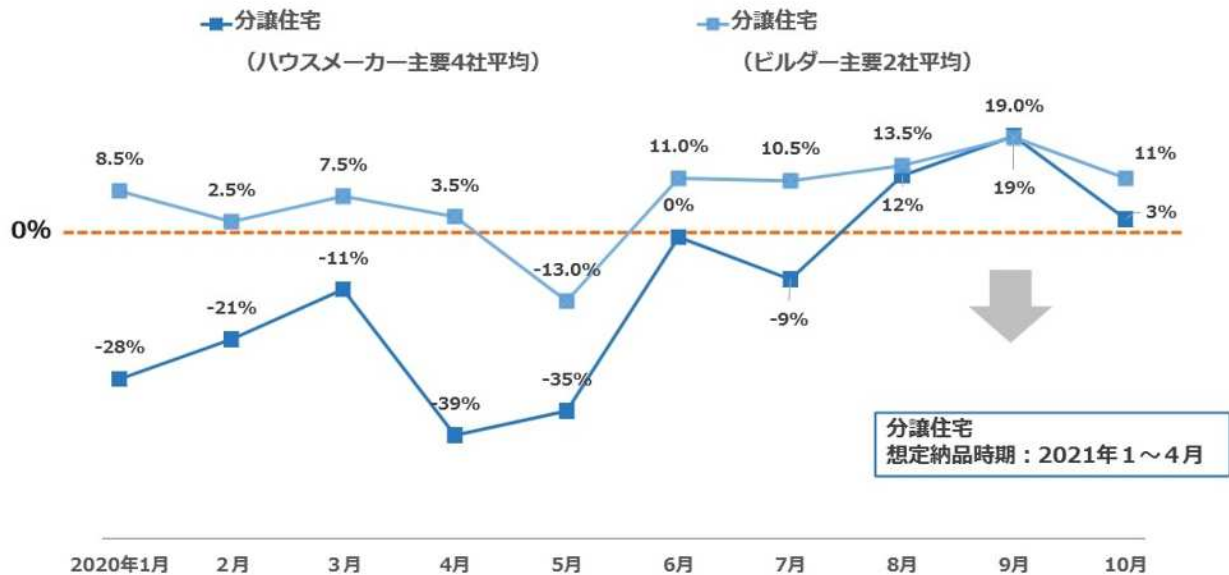
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

(参考) 住宅市場／新築 分譲住宅

分譲住宅 ハウスメーカー・ビルダー受注速報値（前年同月比）



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

23

一方、分譲住宅ではありますが、これはハウスメーカー4社の平均と主要ビルダー2社の発表されております平均値であります。

ハウスメーカー4社の数字は、注文住宅と同じような傾向にありますが、ビルダー2社の受注に関しては5月に落ち込みを見せたものの、6月以降は前年比を上回る数字となっております。8月、9月、10月、好調な結果となっておりますけども、この8月、9月、10月の分譲住宅の受注が内装の納品に影響を及ぼすのは来年の1月から4月と捉えております。

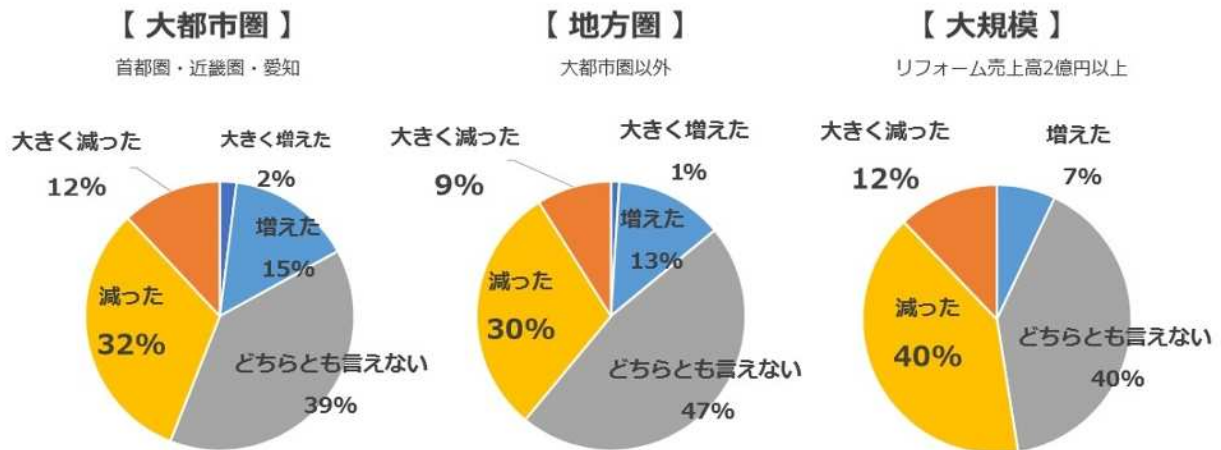
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



(参考) 住宅市場／リフォーム

コロナ禍による、前年と比べたリフォーム売上高の影響



一般財団法人住まいづくりナビセンター実施 (回答数: 180社 実施期間: 2020年8月31日~9月14日)
「コロナ禍によるリフォーム需要の変化と事業者のIT活用状況に関するアンケート」より

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

24

次に、住宅のリフォーム市場の状況をご覧いただきたいと思います。これは、リフォームの業者・関係者に対して行ったアンケート結果です。巣ごもり、在宅によって住宅リフォームが増えたという声もございますが、やはり、全体としてはリフォーム工事も減ったという結果が、全ての地域、また大規模なリフォームに関しても出ています。9月までは、やはりリフォームは低調であったと考えておりますが、9月以降、10月の状況を見てみますと、当社のリフォームに使われる商材の売上結果からは、明らかにリフォーム需要は回復傾向にあると風に考えています。

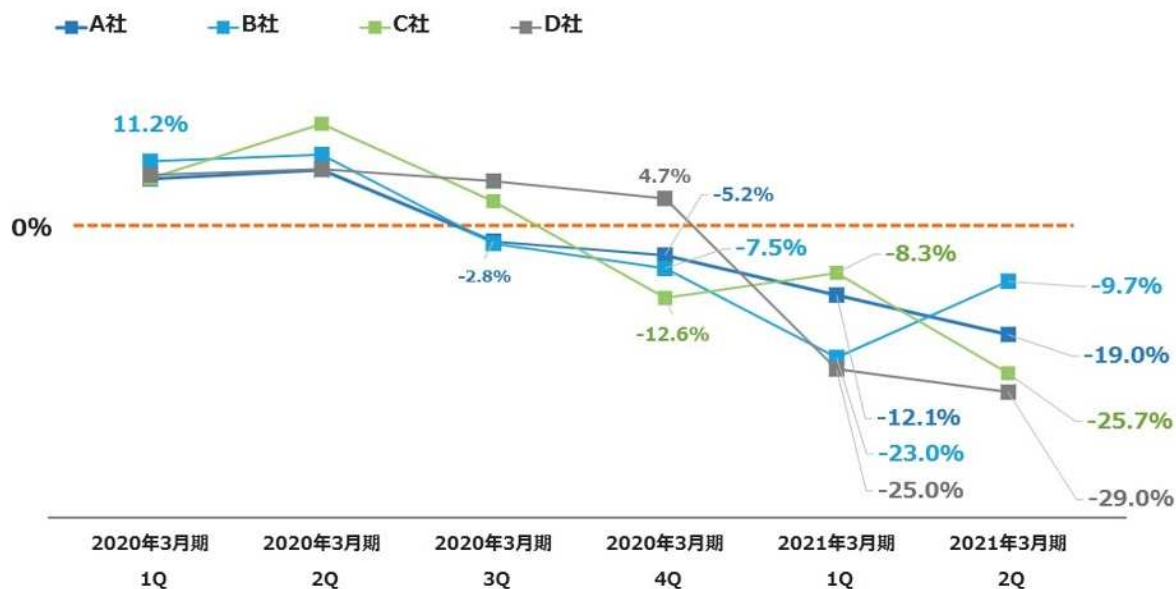
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

(参考) 非住宅市場

大手ゼネコン建設事業売上高実績（前年同期比）



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

25

続きまして、非住宅非居住の建築物の状況です。これは大手ゼネコン4社の建設需要の売上高の前
期比の推移を、グラフとして示したものであります。ご覧の通り、今年の第1四半期・第2四半期
にかけて売上が更に減少しているゼネコンが多い結果になっております。これに対しては、先ほど
来申し上げている通り、コロナウイルス感染症が影響しているというよりも、過去2018年度から
継続している民間非居住の建築物の着工床面積の減少が徐々に売上高として顕在化してきていると
いう風に見ております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



リーマンショック時との比較

インテリアセグメント 売上高推移イメージ (市場成り行きベース)

- 新型コロナウイルス：2019年度上期／2019年度下期をそれぞれ100とし、上下同半期を比較
- リーマンショック：2007年度下期／2008年度上期をそれぞれ100とし、上下同半期を比較



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

26

インテリアセグメント全体のこれからの見通しに関してご説明をしたいと思います。

サンゲツ単体が国内で行う事業を主とするインテリアセグメントの、今後の売上高の推移イメージをお示ししています。ただし、これはあくまでも市場の成り行きベースであり、当社の売上予想を示しているわけではありません。まず青線では、リーマンショック以降に、サンゲツの単体のインテリア事業がどのように推移したかを示しております。リーマンショックは2008年9月15日に起こりました。その結果が2008年の下期から表れております。尚、2008年下期の比較は一年前、2007年度の下期との比較として示しております。私どもの仕事は下期リッチであるため、下期は下期、上期は上期と比較をする必要があるためです。このリーマン時の比較としては、2007年度の下期と2008年度の上期を比較の基準としております。ここでご覧の通り、リーマン時に最も売り上げが下がったのは、2009年度の下期。すなわちリーマンショックが起きてから一年半経って時期が底で、その後回復基調になっております。最終的に2012年度の上期で2008年度の上期実績を越えたという形になっています。すなわち、この間4年間を要したという結果です。これに対して、今年度に関しては、2020年度上期は2019年度上期に比して87.5%、12.5%のダウンとなりました。それに対し、2020年度下期の予想は11.5%減の予定で考えております。すなわち、上期に比して下期はインテリアセグメントに対しての影響は、2020年度上期を底として回復

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

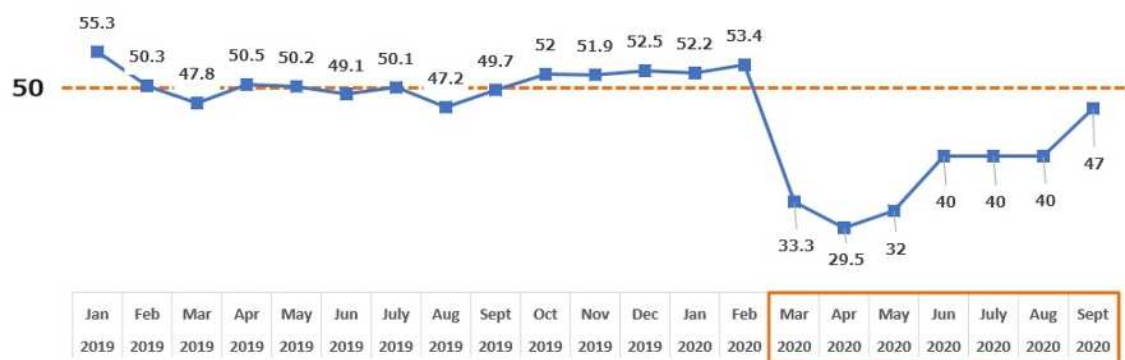


を辿ると見ております。そして今後の推移の予想ですが、住宅の新築と住宅のリフォーム、非住宅の新築と非住宅のリノベーション、それぞれに対して一定の予想をたて、その結果を表しているのがこのオレンジの点線です。すなわち、最も早いケースでは 2022 年度の上期に 2019 年度上期をほぼ 100%とすることが可能になるだろう。遅れた場合には 2023 年度の上期に 2019 年度上期を上回るだろう、という推移の予想です。これは先程申し上げました通り、あくまで市場の成り行きベースでの推移イメージであり、これを私どものインテリアセグメントの売上の予想としているわけではございません。商品面での施策、営業面での施策等々を打つことによって、これを上回る売上を達成していくことを考えております。また、売上のみならず、総利益に関しても総利益率の改善施策を打つことにより、この状況よりも、より良い結果をもたらしていきたいと考えております。

(参考) 米国 非住宅市場

非住宅建設ABI指標の推移

非住宅建設ABI指標（Architecture Billings Index）とは、The American Institute of Architects(米国建築家協会：AIA)が発表する指標で、非住宅部門（ホテル、オフィスビル、学校、病院など）の建築活動の先行指標。米国の建築家への調査に基づき算出され、**9～12カ月後の建築活動を示す**先行指標とされ、50を分岐点に上回れば建築活動の拡大、下回ると縮小を示す。



新型コロナウイルス感染症の影響により2020年3月より急激に悪化、4月をボトムに9月より回復傾向。海外事業（北米市場）の回復は、来期以降を予想

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

27

海外でありますけれども、米国において、ABI 指標、Architecture Billings Index というものがございます。これは非居住の建物、建築物に携わっている関係者の市況感や建築活動の先行きを聴取して表したインデックスで、9 カ月から 12 カ月後のマーケットがどうなるかを表しています。ご覧の通り、本年 2 月までは 50 を超える指標となっておりました。インデックスが 50 を上回っている限り、関係者は建築活動が拡大していると見ており、50 を下回る場合には縮小していると見

サポート

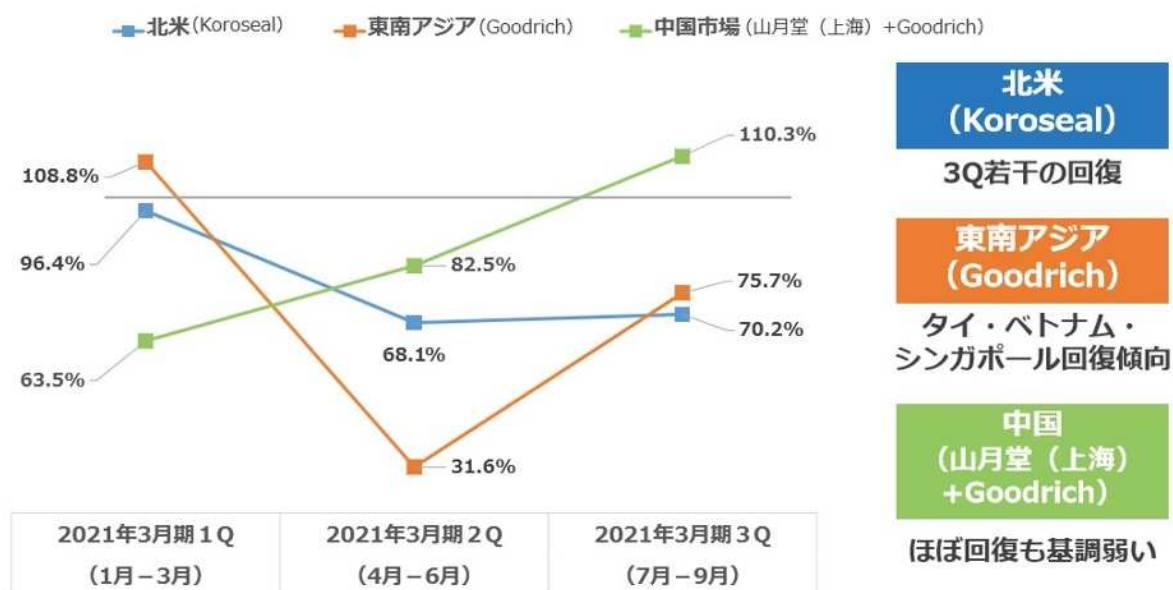
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

ているということになります。50を上回っていた2020年2月から一転して2020年3月には33.3、4月にさらに下がりましたが、5月以降回復をしております。6月から8月まで40で安定しておりましたが、9月に47まで回復をいたしました。このインデックスの回復がさらに続くのか、それとも新型コロナウイルス感染症の拡大する中で、今後下がっていくのかというところに注目していきたいと考えております。

海外セグメント 地域別状況

海外セグメント 地域別の売上高推移（前年同期比）



sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

28

このグラフでは、私どもの海外関係会社の売上推移を表しております。

私どもの海外関係会社は、3カ月前の業績を決算として連結しております。すなわち、海外関係会社の今年1月～3月の結果は、連結決算の第1四半期、4月～6月期に連結をしているということです。このため、連結決算の第3四半期に算入される7月～9月の結果は既に出ています。その結果がこのグラフですが、北米に関しては、1月～3月時点では96.4%と、ほぼ微減の結果でした。しかしこれが4月～6月に入って30%強の落ち込みとなり、7月～9月になっても30%の落ち込みが依然として続きます。次に東南アジアですが、1月～3月に関しては100%を超える結果であったのが、4月～6月にかけて70%の大幅な落ち込みとなり、7月～9月で25%の落ち込みまで回復してきております。中国に関しては、1月～3月は先ほども申し上げた旧正月の影響、さらに中

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



国国内で新型コロナウイルス感染症が大きく拡大したことから、売上が 37%近い落ち込みとなりました。その後、4 月～6 月に回復し、7 月～9 月には 110%と、前年を上回る売上高となっています。しかしながら基調は決して強くないと見ております。

連結業績予想

単位(億円、%)

	2020年3月期	2021年3月期				
	通期実績	通期 期初計画	通期 修正計画	上期実績	対通期 期初計画 進捗率	対通期 修正計画 進捗率
売上高	1,612.6	1,350.0	1,400.0	695.4	51.5%	49.7%
売上総利益	529.2	—	460.0	227.0	—	49.4%
販売費及び 一般管理費	436.5	—	406.0	201.6	—	49.7%
営業利益	92.6	42.0	54.0	25.4	60.6%	47.1%
経常利益	98.4	45.0	58.0	27.8	62.0%	48.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	14.3	23.0	35.0	19.7	85.9%	56.4%

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

30

以上のとおりの状況認識をベースに、通期見通しの変更を行いました。

既に発表いたしました通り、期初計画、売上 1,350 億を 1,400 億円に。そして営業利益 42 億円を 54 億円に。そして、親会社に帰属する当期純利益 23 億円を 35 億円に修正をいたしました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

連結セグメント別業績計画

単位(億円、%)

		2020年3月期			2021年3月期					
		上期実績	下期実績	通期実績	通期修正計画	上期実績	前期比	下期計画	前期比	通期計画進捗率
インテリア	売上高	604.0	616.9	1,220.9	1,075.0	528.7	▲12.5%	546.2	▲11.5%	49.2%
	営業利益	45.1	48.1	93.2	58.0	27.4	▲39.2%	30.5	▲36.5%	46.5%
エクステリア	売上高	83.0	77.7	160.8	140.0	72.3	▲12.9%	67.6	▲13.0%	51.6%
	営業利益	3.8	2.6	6.4	4.0	2.3	▲38.3%	1.6	▲36.9%	78.6%
海外	売上高	100.3	97.6	198.0	145.0	77.9	▲22.3%	67.0	▲31.4%	53.8%
	営業利益	▲4.0	▲5.2	▲9.3	▲9.5	▲5.0	—	▲4.4	—	—
スペース クリエーション	売上高	16.6	25.0	41.6	50.0	22.0	+33.0%	27.9	+11.6%	44.2%
	営業利益	0.5	1.2	1.8	1.5	0.8	+49.6%	0.6	▲48.5%	55.4%
セグメント 間取引調整	売上高	▲3.4	▲5.3	▲8.7	▲10.0	▲5.7	—	▲4.2	—	—
	営業利益	0.0	0.4	0.4	—	▲0.0	—	0.0	—	—
合計	売上高	800.6	812.0	1,612.6	1,400.0	695.4	▲13.1%	704.5	▲13.2%	49.7%
	営業利益	45.4	47.2	92.6	54.0	25.4	▲44.1%	28.5	▲39.5%	47.1%

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

31

セグメント別の内訳をご覧いただきたいと思います。インテリアセグメントに関しましては、上期の売上高上期 528 億 7,000 万円（前期比 12.5%減）に対して、下期は 546 億 2,000 万円（前期比 11.5%減）。

海外セグメントに対しましては、77 億 9,000 万円（前期比 22.3%減）に対して、67 億円（前期比 31.4%）と上期比より大きな減少になると見ております。これに一番大きく影響しておりますのは、海外セグメントの中で最も大きな売上を持つ米国の Koroseal 社、及びカナダの Metro 社の 2 社が、1～3 月に関してはほぼ前年並みであったのに対して、新たに加わる 10～12 月期は、この 1～3 月に比べ当然大きな減少幅になるということをベースに、下期は上期よりも減少が大きくなると捉えております。

通期の業績見通しは以上です。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

資本政策・株主還元（配当）

中期経営計画（2020-2022）D.C.2022資本政策

1. 自己資本を **900～950億円** の範囲で維持する。
2. 3年間の総額ベースで **総還元性向を略100%** とする。
3. 自己株式取得および配当に関しては、安定増配を念頭に、新型コロナウイルス感染症の業績に与える影響を見極め都度決定する。

■一株当たり配当額推移



➡ **2021年3月期の配当額は58.0円、7期連続増配を予定**

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

33

そして、最後に資本政策・株主還元に関してご説明を申し上げます。

5月に発表いたしました中期経営計画、D.C.2020では、資本政策を以下のとおりとしております。

自己資本を900～950億円の範囲内で維持すること。

3年間の総額ベースで総還元性向をほぼ100%とすること。

自己株式の取得及び配当に関しては、安定増配を念頭に新型コロナウイルス感染症の業績に与える影響を見極めつつ、都度決定をする。

自己資本でありますけれども、9月末で939億円ということで、950億円に近い結果となりました。配当に関しましては、第1四半期の決算発表の際に、中間配当を29円、期末29円、年間配当58円を発表しております。これにより7期連続増配となります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

株主還元実績

自己株式取得の状況		
取得期間	取得株式総数	取得総額
自己株式取得は行っていません。	0株	0円

自己株式消却の状況		
消却日	消却株式総数	消却後の発行済株式総数
2020年6月30日	60万株	6,115万株

中間配当金			株主還元総額 17.5億円
基準日	一株当たり配当額	配当金総額	
2020年9月30日	29.00円	17.5億円	

sangetsu

©Copyright Sangetsu Corporation

34

最後に、この株主還元総額 9 月末の基準額として 17 億 5,000 万円の支払いを行います。株式に関しましては、6 月 30 日に自己株式 60 万株の消却を行い、消却後の発行済株式総数は 6,115 万株となりました。

以上のとおり、上期決算の状況及び通期の見通しに関しご説明申し上げます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



脚注

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

